

＜若林区中央市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

「読み聞かせボランティア養成講座」

9月11日・9月25日・10月9日・10月23日・11月6日開催

若林区内では児童館や私設文庫などで読み聞かせボランティアの皆さんが積極的に活動しています。

そこで、さらに多くの皆さんが読み聞かせボランティアの世界へ踏み出すきっかけとなる講座を開催しました。

内容は読み聞かせの基本編として5回開催。図書館などで実際に読み聞かせをされている皆さんを講師に招き、ボランティア活動の心がまえ、本の選び方、発声、本の持ち方などを、受講生同士、お互いに読み聞かせをしながら学びました。最終回には若林区中央市民センターの講座がきっかけで生まれた読み聞かせボランティア「のほほん」との交流会を開催。

受講生の皆さんは読み聞かせの世界を知り、地域でのボランティア活動への関心を高めたようでした。



〈七郷市民センター〉の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

七郷地域は土地区画整理事業や地下鉄開業、そして東日本大震災による集団移転等、転入されてくる方々が日々増加しています。「地域の情報を知りたい。何かを学びたい、活動したい。でもどうしたらいいの」との思いで市民センターを訪れる方も増え続けています。

七郷市民センターでは、そういった思いに答えるべく市民企画会議「あなたと私とみんなの七郷」受講生とともに「サークル体験会」を企画実施しました。当センターを活動拠点としている団体に声掛けをし24団体の協力を得、1月14日～16日までの3日間にわたり実施しました。来館された方々が気軽に情報を得られるよう1Fロビーに「サークル情報コーナー」を設け、サークル体験会に参加できなかった団体の情報も網羅した「サークル団体一覧表」を作成し配布もしました。サークル体験会最終日には、音楽団体3団体が自ら企画したコンサートも実施し、多くの方々に活動の成果を見ていただく場ともなりました。このサークル体験会を通して団体同士の横のつながりもでき、また、実施後に「会員が増えました」との声も複数寄せられ、今後のさらなる活動の活性化へとつながりを見せています。



サークル体験会での七郷小学校社会学級の活動の様子
ディズニーツムツムを作っています



サークル体験会での七宝クラブの活動の様子

サークル体験会最終日に実施したコンサートの様子



＜荒町市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。平成27年度の取組みをご紹介します。

- 地域で防災啓発活動をしている女性グループに、センターの防災主催講座『防災の力こぶ H27』の講師を依頼し、グループが学んできたことを地域へ還元できました。また、グループメンバーが講師経験を積むことにより指導スキルの向上につなげることができました。
- 手話サークルの方々に、聴覚障害者を受講生としたセンター主催講座『荒町いきいき講座』等の通訳を依頼し、サークルの手話スキル向上につなげることができました。
- 図書ボランティアの方々との毎月1回の定例会を持ち、図書ボランティア活動がスムーズに進められるように課題を話し合い、その改善を行ってきました。これにより週1回の図書整理や貸し出しなどが大きな問題もなくH27年度は進めることができました。



防災講座の講師を担当する地域の女性防災グループ

- 非常食のレシピ紹介と試食
- 防災クイズとアウトドアで防災



いきいき講座で手話を担当する 手話サークルメンバー



図書ボランティアとの定例会

- 定例会議とボランティア活動の様子



＜六郷市民センター＞の取組み【目標2】

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

わたしのふるさとプロジェクト

市民センターの「交流拠点としての機能」を生かし、津波被害が大きかった六郷東部地区の賑わい再生について月 1 回ほど集まって勉強会を行っています。将来、地域の中心となって地域づくりを行ってくれる人材が育ってほしいと考え実施しています。

勉強会では、地域づくりに携わっている方を講師にお招きし、活動に至るまでの経緯やご苦労の様子をお聞きしたり、今年の活動内容について話し合ったりしました。

1 月には、『ふるさとに集う 六郷東部交流会』というイベントを開催しました。「鎮魂の花火の打ち上げ」や「おくすかけのふるまい」「ケーナ演奏」「行灯による文字作成」など、みんなで企画し、関係団体との交渉、材料の調達等について、若林中央市民センターなどのバックアップをいただきながら思い出に残るイベントを実施することが出来ました。

来年度もやりたいというメンバーの話があり、引き続き支援していきたいと考えています。



＜沖野市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

- 若林障害者支援センターで行われるおまつりに出演してもらえる団体を紹介してほしいとの依頼を受け、複数の団体を紹介しました。おまつりの担当者から、「おまつりを盛りあげていただき、ありがとうございます」と感謝の言葉をいただきました。
(ハーモニカの愛好会、好きな楽器を持ち寄って演奏活動している団体、絵手紙作りを行っている団体、計3団体を紹介)
- コミュニティセンターまつりを初めて開催するとのことで、出演してもらえる団体を紹介してほしいとの依頼を受け、老人福祉センターを活動拠点としている詩吟のサークルとコミセンの橋渡しを行いました。市民センターの重要な役割であるコーディネーターとしての強みを発揮できた一例だと思います。
コミセンまつりの担当者からも、感謝の言葉をいただきました。
- 地域の介護施設から、慰問に来てもらえる団体を紹介してほしいとの依頼を受け、複数の団体を紹介しました。
(フラダンスサークル、ハーモニカの愛好会、好きな楽器を持ち寄って演奏活動している団体、琴や三味線などの和楽器演奏を楽しんでいる団体の計4団体と仙台東高校マジック部を紹介)

今後も市民センターが、地域の施設等と地域団体とが繋がっていけるようにコーディネーターとしての力を発揮していくことで、地域コミュニティの輪を作っていける支援をしていきます。



＜若林市民センター＞の取組み【目標2】

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

地域内の小学校から「朝の読書の時間」に協力していただける読み聞かせのボランティアを紹介してほしいという相談があり、市民センターで読み聞かせボランティアの養成講座を行いました。その後、ボランティアサークル「おはなしサークルひつじの会」が立ち上がりを作り、小学校だけでなく、児童館や図書館においても定期的に活動を続けています。

市民センターはサークル活動を継続していく上でのメンバー補充とスキルアップを兼ねて、読み聞かせのための講座を開催し、活動を支援しています。スキルアップ講座では、紙芝居や手あそびなども学び、これからの活動が充実したものになるよう取り組んでいます。

